

令和6年度病虫害発生予察注意報第8号

令和6年9月2日
愛知県

作物名：ダイズ、野菜類、花き類

病虫害名：ハスモンヨトウ

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生程度 多い

3 注意報発表の根拠

- (1) フェロモントラップの8月第1半旬から8月第5半旬まで（長久手市は8月第6半旬まで）の誘殺数の合計が、複数地点において過去10年間と比較して多い(図)。
 - ・長久手市（ダイズほ場）664頭（平成153.9頭、前年126頭）で、過去10年間と比較して最も多い。
 - ・豊田市（ダイズほ場）532頭（平成413.4頭、前年252頭）で、過去10年間と比較して3番目に多い。
 - ・田原市（キャベツほ場）943頭（平成252.1頭、前年259頭）で、過去10年間と比較して2番目に多い。
 - ・稲沢市（キャベツほ場）790頭（平成576.6頭、前年506頭）で、過去10年間と比較して4番目に多い。
- (2) 8月下旬にダイズほ場で実施した巡回調査（9地点18ほ場）において、本虫の寄生株率は7.56%（平成0.91%、昨年2.06%）で過去10年と比較して最も高い。
- (3) 8月29日名古屋地方気象台発表の1か月予報では、向こう1か月の気温は、高いと予想されており、本虫の発生に好適な条件である。

4 防除上注意すべき事項

- (1) 齢の進んだ幼虫には薬剤効果が低下するため、若齢幼虫のうちに対象作物に登録のある薬剤を選んで防除する。
参考：農林水産省農薬登録情報提供システム (<https://pesticide.maff.go.jp/>)
- (2) 成虫の発生が多い状況が続いた場合、ほ場への飛来が続くことが予想される。
今後の予察情報を参考にするとともに、薬剤防除後もほ場での発生状況に注意する。
- (3) 卵塊や分散する前の若齢幼虫は見つけ次第捕殺する。
- (4) 本虫は寄主範囲が広く、ほ場周辺の雑草は増殖源になるため除去する。
- (5) 施設栽培では成虫の飛び込みに注意し、開口部を防虫ネットで被覆する。
- (6) 8月2日発表のハスモンヨトウ情報第1号（ダイズ、キャベツ等）も参考にする。

5 連絡先

愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病虫害防除室

電話 0561-41-9513

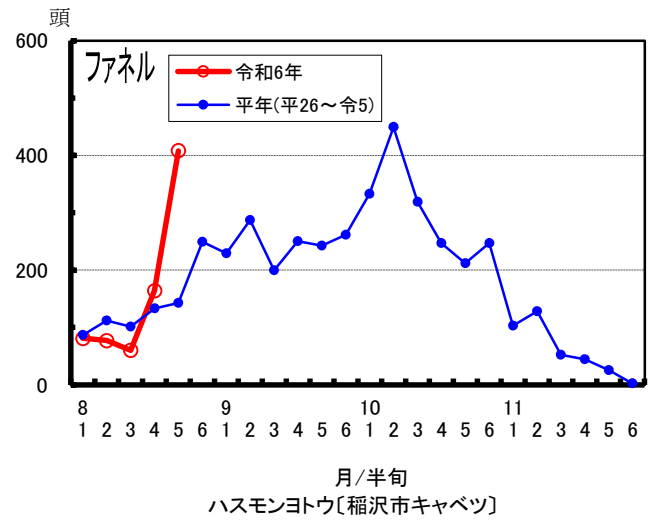
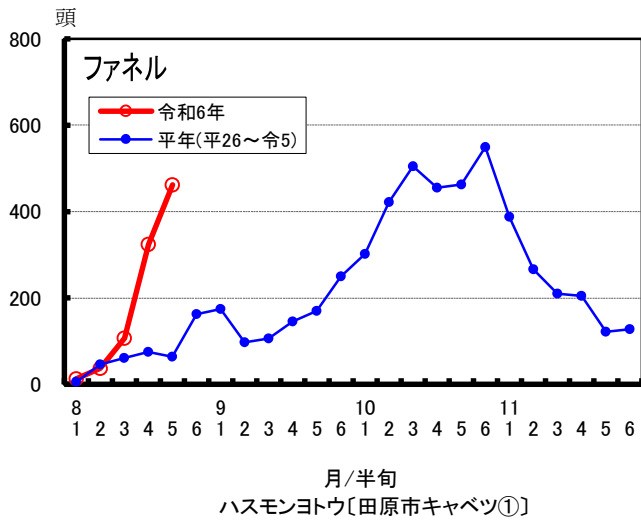
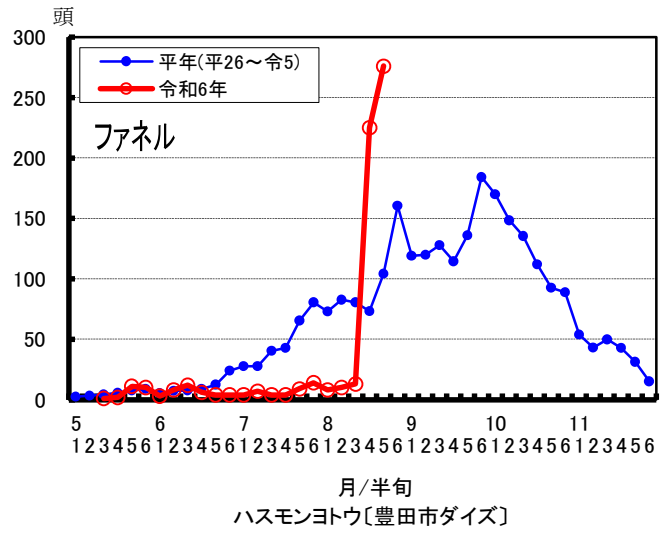
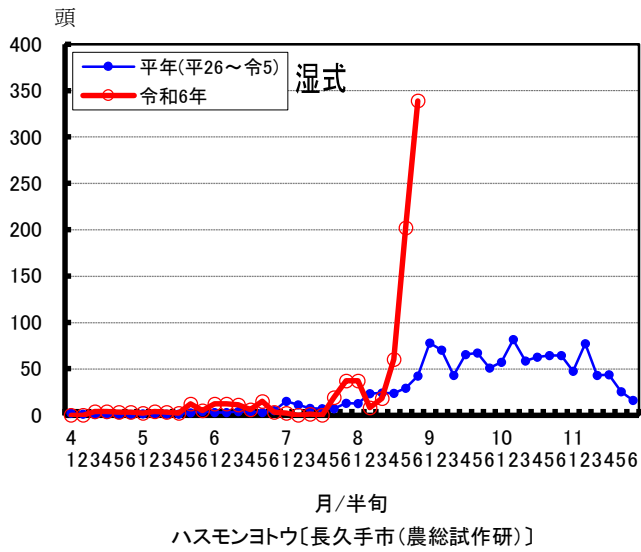


図 フェロモントラップにおけるハスモンヨトウの誘殺数